Prinergy Evo クイック リファレンス カード

www.creo.com | creo

653-00648B-JA-A — Internal 732-00007B-JA-A

主な手順

1. Prinergy® Evo サーバーとクライアント ソフトウェアをインストールします（このカードのインストール チェックリストを参照）。
2. 送信チャンネルを作成し、デフォルトの［Refine to PDF］プロセス テンプレートに設定します（Refine to PDF ライセンスがある場合）。
3. ソース ファイルを Prinergy Evo サーバーの **JobData** 共有フォルダにコピーします。
4. 入力ファイルを PDF にリファインする送信チャンネルにドラッグします。
5. 送信チャンネルを作成し、デフォルトの出力プロセス テンプレートを設定します。
6. 出力する PDF の場所を確認します。
7. PDF を出力送信チャンネルにドラッグします。

Prinergy Evo トレーニング ガイドと Prinergy Evo クライアント オンライン ヘルプを参照してください。

はじめに

Prinergy Evo は、プリプレスとプレート作成を統合・管理する PDF ベースのプリプレス ワークフローです。Prinergy Evo では、PostScript、EPS、DCS、および PDF の入力ファイルを処理し、シングル ページまたは面付けファイルとしてトラッピング、プルーフ、フィルム作成、およびプレート作成を行います。

注意：このカードで説明する Prinergy Evo ワークフローと設定の中には、Prinergy Evo の標準的なライセンスに含まれていないものもあります。

プロセス テンプレート

- Prinergy Evo でプルーフ作成などのプロセスを実行するための、デフォルトおよびユーザー定義の設定の組み合わせ
- 繰り返しの多いワークフロー タスクを自動化し、時間の節約とエラーの減少を実現
- プロセス テンプレート エディタを使用して作成、編集

機能

ライセンスによって 2 種類のプロセス テンプレートがあります。

PDF にリファインするプロセス テンプレート — さまざまな形式の入力ファイルにフォントと画像を埋め込み、独立した PDF ページに変換してデジタル マスタ PDF ファイルを作成します。

出力プロセス テンプレート – PDF、PostScript、および TIFF 入力ファイルから、ページ、面付けプルーフ、プレート、フィルム、デジタル ファイルなどを作成します。

CEPS 変換
CT ／ LW および TIFF ／ IT の入力ファイルをレイヤー化された PDF ページ（CT ／ LW）に変換します。

ノーマライズ
ページ サイズ、OPI、およびフォント処理を定義して、出力に適した PDF を作成します。

スポット カラーの処理
スポット カラー変換に関する設定を行います。

オーバープリント変換
オーバープリントに関する設定を行います。

カラー マッチング
カラー マッチングに関する設定を行います。

トラップ
トラッピングに関する設定を行います。

オプティマイズ
入力ファイルの高解像度画像の最適化、または低解像度画像の代替使用の方法を定義します。

処理済ファイルの環境設定
リファインされた PDF ファイルの保存先を定義します。

カラー マッチング
オブジェクトのカラー指定を行い、最終出力に適したカラー スペース、およびデバイスに適したカラー スペースに変換します。

スポット カラーの処理
スポット カラー変換時に使用するカラー データベース ライブラリを定義します。

レイアウト
面付けとメディアの設定を行います。

レンダー
解像度の設定を行います。

キャリブレーション&スクリーニング
デバイスのキャリブレーションを定義し、ラスタライズとスクリーニングの設定を行います。

処理済ファイルの環境設定
出力ファイルの保存先を定義します。

PrintLink
Prinergy Evo で作成される PPF ファイルとインキ レポート ファイルの設定を行います。

デバイス
出力デバイスの設定を行います。

Prinergy Evo のシステム セットアップ、ワークフロー、およびコンセプトについて

送信チャンネル

すべての送信チャンネルには、PostScript、EPS、DCS、CT ／ LW、TIFF ／ IT、または PDF の入力ファイルをリファインする方法や PDF、PostScript、または TIFF ファイルを出力する方法を指定するプロセス テンプレートが設定されています。

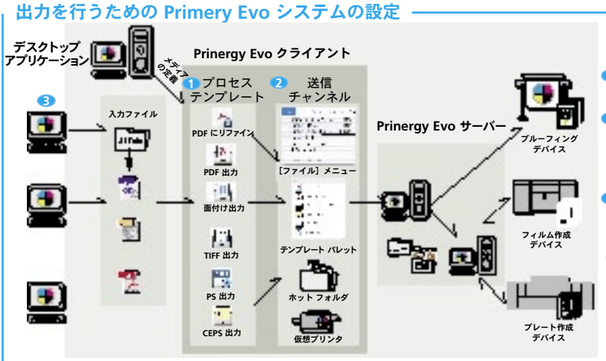
送信チャンネルの種類：
テンプレート パレット – JobData フォルダからパレットへドラッグ＆ドロップします。

仮想プリンタ – デスクトップから仮想プリンタへ出力し、自動的に PDF にリファインします。

ホット フォルダ – 入力ファイルを自動的に Prinergy Evo で処理するためのフォルダです。

［ファイル］メニュー – 入力ファイルを［ファイル］メニューから手動で一度に送信することができます。

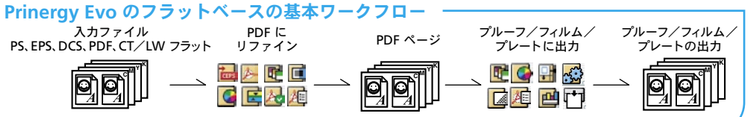
出力を行うための Primery Evo システムの設定



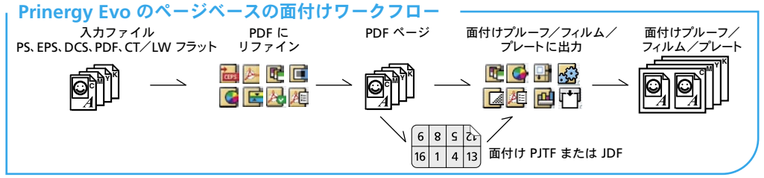
1. プロセス テンプレートを設定します。
2. 送信チャンネルを設定し、プロセス テンプレートを指定します。
3. 入力ファイルを Prinergy Evo に送信します。

詳細は Prinergy Evo クライアント オンライン ヘルプを参照してください。

Prinergy Evo のフラットベースの基本ワークフロー



Prinergy Evo のページベースの面付けワークフロー



Prinergy Evo の出力専用ワークフロー



Prinergy Evo ソフトウェア インストール チェックリスト

Prinergy Evo クライアント／サーバー システムをインストールする際には、このチェックリストを参考にしてください。

このチェックリストは、Prinergy Evo システム インストール チェックリスト、インストール ガイド、Prinergy Evo Administrator オンライン ヘルプ、およびクライアント オンライン ヘルプと共に使用してください。

1 サーバーのインストール

- Prinergy Evo サーバーとクライアントのインストール要件を満たしているかチェックします。
- Prinergy Evo ライセンス キーを追加して、Prinergy Evo サーバー ソフトウェアをインストールします。
- Prinergy Evo サーバー コンピュータに、ソフトウェア キットに含まれている Prinergy Evo USB Super Pro Key を差し込みます。
- Harmony ソフトウェアをインストールします。

2 クライアントのインストール

- Prinergy Evo クライアントで PgyEvoInstll、JobData、および HotFolder ボリュームのマウントまたはマップを行い、Prinergy Evo クライアントを Prinergy Evo サーバーに接続します。
- Prinergy Evo クライアント ソフトウェアとその他のツールをインストールします。
- Prinergy Evo クライアント ソフトウェア
  - Acrobat 用プラグイン
  - Prinergy Refiner PPD
  - Virtual Proofing System ソフトウェア
  - CarbonLib 1.6（Mac OS 9.2.x のみ）
- Prinergy Evo クライアント ソフトウェアを起動します。
- Prinergy Evo トレーニング ガイドとオンライン ヘルプに目を通します。
- PPD 共有フォルダを設定します。
- ライセンスによって、Prinergy Evo サーバー コンピュータとソフトウェアを、プルーフ、プレート、およびフィルム作成デバイスに接続します。
- PostScript プリンタを設定します。
- Prinergy Evo クライアント ソフトウェアを設定します。
- テスト ジョブを実行して、クライアント／サーバーが正しく接続されていることを確認します。

3 プロセス テンプレートのインポート

- eCentral の Prinergy Evo ページで、適切なプロセス テンプレートを選択して Prinergy Evo サーバー コンピュータ上の一時フォルダにダウンロードします。

  重要：プロセス テンプレートを Prinergy Evo サーバー データベースにインポートするには、Prinergy Evo サーバーが読み書きおよび変更の権限を持つサーバーまたは共有フォルダにプロセス テンプレートをダウンロードする必要があります。
- プロセス テンプレート エディタで、ダウンロードしたプロセス テンプレートをインポートします。
  詳細については、Prinergy Evo クライアント オンライン ヘルプを参照してください。

4 ソフトウェアのアップデート

- Prinergy Evo サーバー システム トレイで［Prinergy Evo］アイコンを右クリックし、ショートカット メニューから［**Administrator の起動**］を選択します。
- ［**アップデート**］タブを選択して、Prinergy Evo ソフトウェアの新しいアップデートまたはバージョンがあるか確認します。
- ［**今すぐ確認**］をクリックして、新しいアップデートまたはバージョンをダウンロードします。
- アップデート ウィザードで、［Prinergy Evo <version#> Updates］インターネット ブラウザ ウィンドウの［**アップデートの表示**］をクリックします。
- ［**最新のアップデート**］セクションで、［**製品情報の詳細**］をクリックします。
- アップデート ウィザードの手順に従います。
  詳細は Prinergy Evo Administrator オンライン ヘルプを参照

Prinergy Evo のショートカット キー

Macintosh

- Cmd+O
  PDF にリファイン
- Cmd+P
  PDF の出力
- Shift+Cmd+P
  面付けの出力
- Cmd+I
  アイテム情報
- Shift+Cmd+H
  プロセス履歴
- Cmd+T
  テンプレート パレット
- Option キーを押しながらテンプレート パレットにファイルを送信すると、ファイルは自動的に処理されます。

Windows

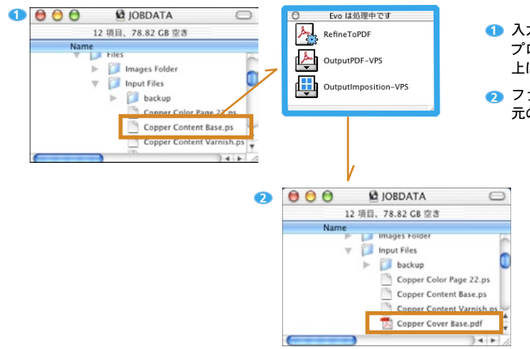
- Ctrl+H
  プロセス履歴
- CTRL+I
  アイテム情報

Prinergy Evo クイック リファレンス カード

www.creo.com | creo

653-00648B-JA-A | Internal 732-00007B-JA-A

PDF にリファイン



1. 入力ファイルを［**Refine to PDF**］プロセス テンプレート アイコンの上にドラッグします。
2. ファイルが PDF にリファインされ、元のフォルダに保存されます。

PDF にリファインするその他の方法

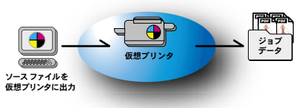
PDF にリファインするホット フォルダ



1. ［**追加**］をクリックして［プロセス テンプレートの割り当て］ダイアログ ボックスを開き、設定するプロセス テンプレートを選択します。
2. ホット フォルダの場所を設定します。
3. ［**OK**］をクリックして、指定したプロセス テンプレートが設定されたホット フォルダを作成します。

   注意：出力プロセス テンプレートを選択して、出力用ホット フォルダを作成することもできます。

PDF にリファインする仮想プリンタ



Apple Talk と LPR IP の 2 種類があります。

1. Prinergy Evo クライアント ソフトウェアで PDF にリファインまたは PostScript に出力する仮想プリンタを設定します。
2. デスクトップに仮想プリンタを追加します。

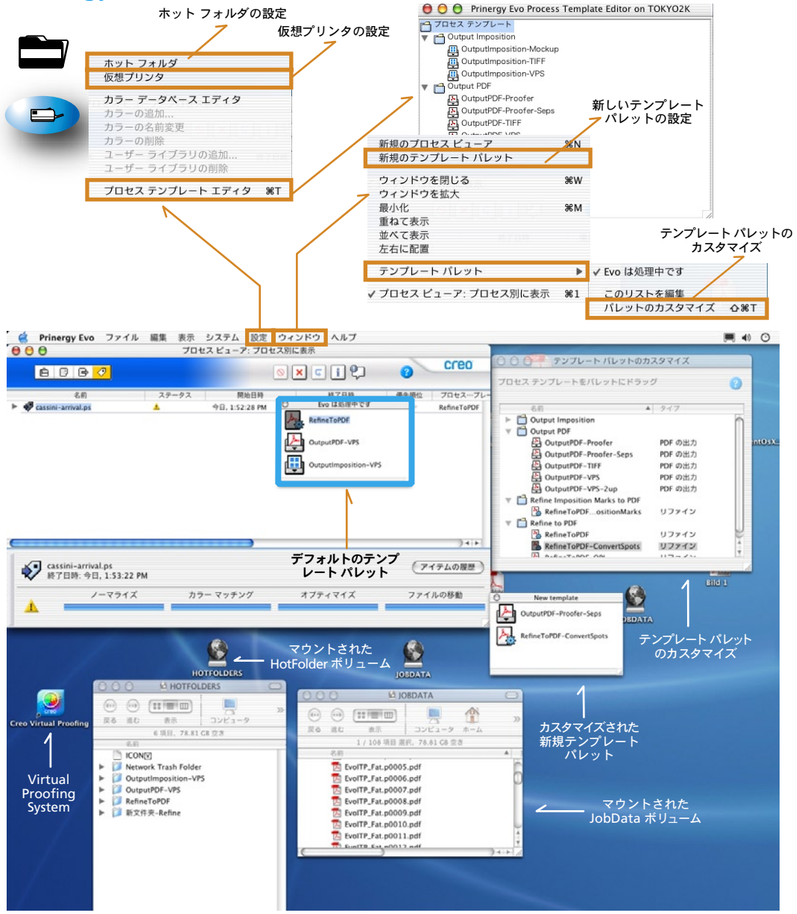
   Prinergy Evo クライアント オンライン ヘルプを参照してください。

ファイルとフォルダの名前についての注意

異なる OS 間でのファイル交換の問題を避けるため、次の文字をファイル名およびフォルダ名に使用しないでください。

? " / \\ < > * | : % $ ( ) +] [. ... , ; ^ & { } # ' ~

Prinergy Evo クライアントの起動



処理に関する情報のアイコン

ユーザーによるキャンセル　正常に完了　警告 – 処理中に問題発生

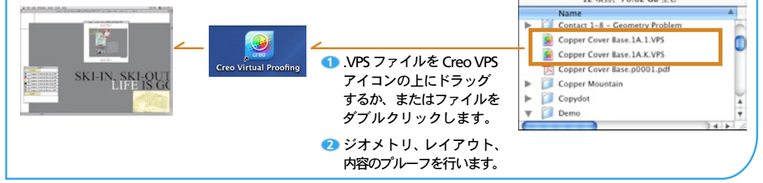
失敗　JTP で処理中

フラットをデジタル プルーフ用に出力



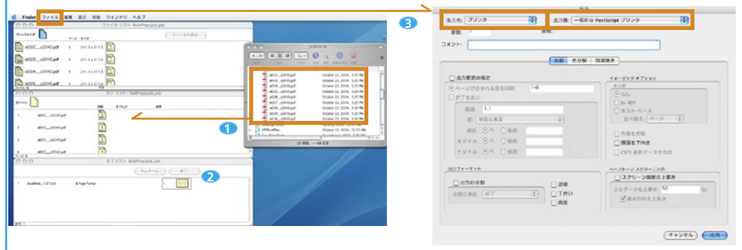
1. PDF ファイルを［**Output PDF**］プロセス テンプレート アイコンの上にドラッグします。
2. ファイルは Virtual Proofing System ファイルとして保存されます。

Creo Virtual Proofing System を使用した出力ファイルのプレビュー



1. .VPS ファイルを Creo VPS アイコンの上にドラッグするか、またはファイルをダブルクリックします。
2. ジオメトリ、レイアウト、内容のプルーフを行います。

Preps の［PDF -> PDF］面付けを出力



1. PDF ファイルを Preps® の［**Run List（ラン リスト）**］セクションの上にドラッグします。
2. ［**Signature List（折丁リスト）**］セクションで［Signature（折丁）］をクリックして、折丁またはレイアウトを追加します。
3. a）［**File**（ファイル）］メニューから［**Print**（プリント／印刷）］を選択します。

   b）［**Print（出力）**］ダイアログ ボックスの［**Export as（出力先）**］一覧から［Adobe Job Ticket］を選択します。

   c）［**Device（出力機）**］一覧から出力先のデバイスを選択します。

   d）［**Print（出力）**］をクリックします。



4. Preps JDF または PJTF ファイルを［Output Imposition］プロセス テンプレート アイコンの上にドラッグします。